

## I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑳ 近年の「メッセージ性」の弱さ(曖昧さ?)?!「頑張れ!」なんかは、まさにその典型?!

I：最近、本当に、コロナ禍に関わることばかりを問答していますが、本音を言うと、精神の疲弊というか、言葉の無力というか、何故か、一方では、そういう思いも高じているのですが、いかがですか?

D：現実には、何も変わらない?社会全体の良い兆しが、ほとんど感じられない?しかし、一方では確実に、貴重な日々が、次々と過ぎ去っていく(特に「高齢者」にとっては?)!私は、この間、何をしているのか?これでよいのか?そういうことを思いながら生きている?そういうことですね?!

I：生活感覚的に言えば、まさにそういうことなのですが、自らの生活の中に「無為感」「無力感」が、日毎に増していくということです!そうこうしているうちに、この間の「緊急事態宣言」も延長され、再び我慢の日々を強いられるわけですが、どこまで頑張れというのでしょうかねえ?

D：もちろん、そういうことは、他の多くの人も思っていることではと思いますが、とりわけ、これは、現役を退いた、ある意味「ステイホーム」を常態としている私達であるが故の実感とも言えるのではないのでしょうか?二重の意味で、本当に困った(切ない?)ものですよね!

I：え?二重の?それは、どういう意味ですか?

D：一つは、実際の日常生活における我慢(ただし、実際には、あまり我慢はしていない?それが、ある意味日常でもある?)!もう一つは、多分、あと何回あるか(どれくらい続くか)分からない?自らの社会参画、外とのつながりへの我慢?そういうことです!

I：一つ目は、よく分りますが、二つ目の「自らの社会参画、外とのつながりへの我慢?」とは、具体的にはどういうことですか?それが分からないと、他人(特に現役世代)には、よく分かりませんよ?しかも、それを「我慢」というのかどうか?

D：要するに、我々高齢者?には、その機会が、いつまでも与えられていないということです!しかも、やろうと思っても、病気等も含めて、諸般の事情で、やれなくなるということです!

I：まあ、そのことは、もちろん個人差もあるでしょうが、基本的には事実ですよ!それが、「老い」というものでしょうね!ちなみに、「老害」にはなりたくないですよ! (笑い)

D：ええ、その通りなのですが、実は、その判断(評価)は、なかなか難しいとは思いますが?特に、本人が、そう思っていない場合には? (笑い)

I：ということで、この「老い」談議自体は、この辺で終わるとして、改めて「頑張れ!」というようなメッセージの弱さ(曖昧さ?)についてですが、それについては、いかがですか?

D：尤も、これについては、本当は、簡単な話ですよ!要は、蔓延防止に頑張っていない人には、「(もっと)頑張れ!」、頑張っている人には、「(もう、それ以上は)頑張らなくてもいいよ!」、ということなのですが、何故か、「頑張れ!」というメッセージが、各自に無力感を与えるものともなり、ある種の「ガンバリズム」の提唱が、社会全体への、負のメッセージともなっている?!

I：そうした状況が、結局は、1年以上続いているわけですからね!そういう意味での「メッセージ性」の弱さ、露骨に言えば、「曖昧さ」となっているということですよ!

D：確かにね!ちなみに、こうした「メッセージ性」の弱さ(「曖昧さ」?)は、何も、このコロナ禍に限られたものではない?この現代社会そのものが、そうなのではないか?そして、一方では、それらを無力化する?多種多様なメッセージが、SNS上等にある?!しかも、それが、物凄い力を発揮している(特に、若者達の間で!)!ということは、正しいメッセージが、そこに、どのように届いているのか?そういうことになりますよね(だが、そこが、最ももどかしい?)?! (つづく)